

下水道問題

問 受益者間の公平性と住民説明会は
答 専門家に相談、車座集会の検討も



太田 修 議員

【下水道関係について】

問 受益者間の公平性と住民説明会は。

村長 他市町村の事例を参考に、法律の専門家に相談し検討します。区長会、地域役員懇談会や広報誌、ユーテレ白馬等、地区での車座集會等も検討します。

問 加入分担金徴収規則の制定目的と周知は。

村長 営業施設では既に多額な費用を投資して浄化槽を設置しており、また、建物等がない受益地の滞納が増加したため、平成13年に1000㎡以上の体育施設用地及

び地目が山林、原野に対し加入分担金に賦課替えをされました。周知方法は滞納者宛てに、条例改正内容の文章を送付し、賦課替えへの意志確認を行いました。

問 未収金の調査が遅れた原因は。

村長 作業内容が複雑で専門性を必要とすることから増員ができず対応が遅れたことをお詫びします。未収金調査は過去の入金履歴データの確認や賦課替え等による補正作業が必要であったため、作業がきわめて困難であることから、平成23年度に新システムに刷新しました。

問 業務指示や引継書の内容は。

村長 昨年9月の定例会後に指示しました。事務引継書は、今回の問題である未収金に関わる欠損等の記載はなく、滞納整理に力を入れ、

減額に努力する旨の内容です。監査要求の目的は。

問

村長 行政側の数字説明に疑義があるとの議会からの指摘を重く受け止め、監査委員会に精査を依頼し、監査委員会と議会に検証をお願いしています。

問 再発防止策は。

村長 弁護士や公認会計士等の専門家を招き、職員研修を通じ法令遵守の重要性を再認識させ、資質の向上に努めます。また、個々の事務事業量の再確認、課内の連携問題意識の共有、職員の適正等を含め組織の見直しを進めます。

問 浄化槽設置件数及び管理指導は。

村長 1248件です。浄化槽法に基づく法定検査が年1回実施され、地方事務



ロマン市 収穫を祝う（道の駅白馬）

問 【観光再生への取り組み状況について】

村長 観光局の移設計画は。

所環境課から改善等の指導が行われます。村の窓口は建設水道課です。

問 空き店舗対策は。

村長 補助金等ではその後の経営存続が懸念されるので、商工会等と連携した支援策を検討します。

村長 観光農政課との連携を図るため、本年度中に白馬駅周辺か役場庁舎内外か